令和4年第8回大竹市教育委員会

- 1 開催日時 令和4年8月19日(金) 9時30分開始
- 2 会場 大竹市役所3階大会議室
- 3 出席及び欠席委員
教育長	小西啓二	欠席
1番	池田良枝	出席
2番	中田美穂	欠席
3番	小出哲義	出席
4番	小城和之	出席
- 4 出席職員
総務学事課長	貞盛倫子
総務学事課	重安千陽
	瀬川隆司
	横峰路子
	錦戸宏泰
	大庭史善
生涯学習課長	吉村隆宏
生涯学習課	安藤好博
	加藤 豪

.....

【開会時刻 9時30分】

池田委員(教育長職務代理者)

本日は、教育長不在のため教育長職務代理者が議長を務めます。

定足数に達していますので、これより令和4年第8回大竹市教育委員会会議を開会します。

はじめに、議事録署名委員を指名します。議事録署名委員は、大竹市教育委員会会議規則第15条第2項の規定により、小城委員を指名します。

次に、会議の議事日程について確認します。

お配りしているとおおり予定していますが、日程第2で予定している議案第30号は、静ひつな採択環境を確保した上で活発な議論を行えるようにするため、審議は非公開が適当ではないかと考え、発議します。

その他に意見はありませんか。

委員一同

なし。

池田委員(教育長職務代理者)

それでは、本件を採決します。議案第30号の審議を公開しないことに異議ありませんか。

委員一同

異議なし。

池田委員(教育長職務代理者)

異議なしと認めます。よって議案第30号の審議は非公開と決定しました。これより本日の日程に入ります。

日程第1「会期の決定について」を8月19日一日限りとします。これに異議ありませんか。

委員一同

異議なし。

池田委員(教育長職務代理者)

異議なしと認めます。よって会期は本日一日間と決定しました。

議案第30号 令和5年度大竹市使用特別支援学級用教科用図書の採択について

池田委員（教育長職務代理者） 日程第2 議案第30号の審議については、会議の冒頭で、公開しないことと決定しました。よって、これより非公開とします。なお、本件の審議の内容については、他の案件と同様に議事録調製後に公開することとします。

～以下、議案第30号の審議は非公開（議事録は公開）～

池田委員（教育長職務代理者） 日程第2「議案第30号 令和5年度大竹市使用特別支援学級用教科用図書の採択について」を議題とします。事務局から説明を求めます。

事務局 特別支援学級で使用する教科用図書のうち、学校教育法附則第9条の規定により、図書の選定について、当該児童生徒の教育課程において検定教科書を使用することが適当でない場合は、文部科学省著作教科書や一般図書といったほかに適切な教科用図書を使用することができるとされています。

この9条図書について、各学校では学校長を中心に教頭、特別支援学級の担任、特別支援教育コーディネーターによる選定会議を設置し、児童・生徒の実態に合わせた適切な教科書の選定を個別に行いました。

各学校が選定した教科書を使用するためには、使用する前年度の8月31日までに教育委員会において採択することとされているため、各校から教育委員会へ提出された選定教科書の報告に基づき、「令和4年度使用特別支援学級用教科用図書」の一覧を作成し、議案として提出しました。

池田委員（教育長職務代理者） これより質疑に入ります。質疑はありますか。

小城委員 小学校の教科用図書についてですが、科目ごとにいろいろな種類がありますが、学年ごとという分け方はあるのでしょうか。

事務局 特別支援学級の知的障害のクラスについては、子どもの実態がそれぞれに違いますので、学年ごとというよりは、その子の実態に合わせてどういった教科書が適しているかという事で選定をしていますので、学年ごとという区分はありません。

小城委員 特別支援学級の場合に、その子に本当に適しているのかという判断の仕方はどのようにされているのでしょうか。

事務局 教科用図書の選定がその子に適しているかということは、非常に難しいところなのですが、基本的には、まず特別支援学級の担任が個々の児童・生徒に来年度使用する教科書について、これまで使用した教科用図書を基に良く力がついたか、今後どういった力をつけていくことが必要かという事を考えて選定をしていきます。その教科用図書については、選定委員会がありますので、そのメンバーに説明して本当にその子の実態に合ったものかと言うことを協議して、最終的には教育委員会に報告をしていくということになっています。そういったところで、いろいろな人が、実態に合っているか、力をつけるものになっているかというところを考えて、選んでいます。

小城委員 学ぶ機会は公正・公平にあるべきだと思いますので、子どもたちが楽しそうに学ぶという姿があったら良いと思いますので、しっかりとお願いします。

池田委員（教育長職務代理者） 小学校について、生活は2冊ですが、国語と算数が1冊ずつになっているのはな

ぜですか。

事務局 小学校の生活についてですが、一般図書の選定については学年ごとに選べる冊数が決まっています。第一学年ですと一種類一冊、第二学年ですと二種類二冊までというように、各学年で選べる冊数が決まっているためです。

池田委員（教育長職務代理者） 星本は、大竹市教育委員会の中に見本がありますか。

事務局 現在教育委員会に星本の見本はありませんので、各学校が今使っているものを元に、中身を見ながら選定をしています。

池田委員（教育長職務代理者） 一般図書はなかなか難しいと思いますが、星本や「ゆっくり学ぶ」シリーズなどは、見たことがない教育委員も多いと思うので、年度末までに一度見せてもらえると、来年また選定をするときに教科用図書の選定がスムーズに進むのではないかなと思いますので、よろしくお願いします。

小出委員 教科書の選定の時には、先生方の意見と保護者を代表しての選定委員がいると思います。今回、特別支援学級用の教科用図書ということで、先生方の教えやすさと、児童・生徒達の理解ということが選定理由としてあると思いますが、保護者の視点から、その教科用図書が良いかということで、選定の中に入ってくることはあるのでしょうか。

事務局 選定は教師主導になっているとは思いますが。選定委員の中に保護者を入れるということはしていないので、担任の教師から、各保護者にこういった教科用図書を使うという話はしていると思います。

小城委員 タブレットがここまで普及するようになってきている中で、これから特別支援学級でも、冊子の教科用図書に代わって、映像で見せるものを使うということも検討していくのでしょうか。

事務局 県教育委員会が採択をしたものの中に、映像が入ったものがあれば、それが子どもたちの実態に合って、より意欲的に使えるようなものであれば、使っていけると思います。基本的に、県教育委員会が採択したものの中から一般図書を選ぶという決まりがありますので、その中になければ選定することが難しいです。

今回示している中にも、英語についてはDVDが付いていて、ネイティブな発音が聞けたり、いろいろな教科についてもDVDを見ながら個々に講師の話を復習で聞いたりということができたりなどしており、色々なデジタル教材を使いながら学習が進んでいくのではないかと思います。

池田委員（教育長職務代理者） その他に質疑はありませんか。

委員一同 なし。

池田委員（教育長職務代理者） 質疑なしと認めます。これをもって質疑を終結します。本件を採決します。

本件は原案のとおり可決することに異議ありませんか。

委員一同 異議なし。

池田委員（教育長職務代理者） 異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり可決されました。

以上をもって、本日の日程は全て終了しました。

なお、本日の会議の議事録を作成するに当たり、各議題の審議内容について、字句、数字、その他の整理を要するものについては、その整理を会議の議長に委任されたいと思います。異議ありませんか。

委員一同 なし。

池田委員（教育長職務代理者） 異議なしと認めます。よって、字句、数字、その他の整理は、議長である教育長職務代理者で行います。

これにて、令和4年第8回大竹市教育委員会会議を閉会します。

【閉会時刻 9時50分】

.....